

# 平成21年度以降の魅力と活力ある県立高校のあり方について

## 検討委員会中間まとめ(案)

魅力と活力ある県立高校づくり検討委員会

### 1. 検討の背景

本県の中学校卒業生数は、平成の時代になってからは平成元年3月の12,601人をピークに減少を続け、平成19年には7,563人となった。

島根県教育委員会では、少子・高齢化や情報化など社会情勢の急速な変化に対応するため、平成11年度から平成20年度までを計画期間とする「県立学校再編成基本計画」及び、この計画の後期期間に相当する平成16年度から平成20年度までの具体的な再編成事項を示した「県立学校後期再編成計画」を策定し、県立高校の適正規模や統廃合基準などを示すとともに、学科改編や高校の統合などの再編成を進めてきた。

しかし、これらの計画が平成20年度までを対象としたものであること、県内の中学校卒業生数は平成21年度以降も減少傾向が続き、平成30年には6,100人余りになると予測されていること、また、中学校卒業生の高校等進学率が98%を超えており、今後も生徒の多様な学習ニーズに対応した高校教育が求められることなどから、今後の県立高校のあり方や再編成について、中・長期的な視点で検討する必要性が生じてきた。

### 2. 今後の高校教育のあり方

#### 基本的な考え方

高校教育においては、豊かな人間性や社会人として必要な勤労観・職業観の育成など、総合的な人間教育の場としての役割が求められており、生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばし、知・徳・体の調和のとれた人間形成を目指していくべきである。

かつては「普通高校からは進学、専門高校からは就職」という固定的な捉え方もあったが、今では高校卒業後の進路が多様化しており、教科・科目の選択幅の拡大など教育課程の一層の弾力化や学科改編などを通して教育内容の一層の充実を図るとともに、総合学科や中高一貫教育の今後のあり方についても引き続き検討し、社会の

第10回検討委員会審議用(H19.12.13)

変化や生徒の多様な学習ニーズに対応した魅力と活力ある学校づくりを目指していくべきである。

#### 普通高校のあり方

普通高校に学ぶ生徒の進路は大学、短大、専修学校などへの進学や就職など多岐にわたっている。本県では、これまでも、こうした進路希望に応じたきめ細かな教育が行われてきている。今後も基礎・基本の確実な定着を図りながら、生徒の興味・関心などが多様化している実態を踏まえて、能力・適性に応じた教育を行うとともに、特色ある学校づくりを推進するため、学校の実態や地域の特性に応じて、教育課程の一層の弾力化を図る必要がある。

また、近年、ニートやフリーターなどが社会問題となっていることにも見られるように、勤労観・職業観が培われていない。このため、生徒に働くことの意義や尊さを教えるとともに、将来の目標や職業意識をもたせるため、キャリア教育の一層の充実を図っていく必要がある。

#### 専門高校のあり方

社会が著しく変化し、産業構造や就業構造が大きく変わりつつある中で、専門高校は生徒の自己実現を図り、将来のスペシャリストを育成する役割を担っている。そのためには、今後も各専門分野の基礎的・基本的な教育に重点を置くとともに、インターンシップや、各分野の専門性を活かした資格取得、各種コンテストへの参加など学習目標を具体的に提示して、生徒が自ら進んで学び続けようとする意欲や態度を育成していく必要がある。

また、専門高校では、入学直後からのキャリア教育や県内産業を意識した進路指導の一層の充実を図るとともに、卒業後は、就職だけではなく、大学、短大、専修学校などへ進学する者も増えていることから、生徒の進路希望に応じて教育課程を一層工夫する必要がある。

なお、本県には、若年者の県外流出や若年労働者の減少という課題があり、本県の産業振興に即した人材育成が求められている。若年者の県内定住を促進していくためには、魅力ある就業先の確保など、行政や企業・関係団体を挙げた総合的な取り組みが必要である。本県の産業を担う人材の育成については、今後、どのような分野で、ど

のような人材を、どの程度必要とするのかなど、関係業界等からの具体的な提案が望まれる。このような提案を受け、それに対応した教育を行うことが必要である。

#### 総合学科のあり方

普通科及び専門学科と並ぶ学科として総合学科がある。この学科は、生徒が学びたい科目を自分で選択し、自己の進路への自覚を深めるとともに、個性を生かした主体的な学習を通して、学ぶことの楽しさや成就感を体験することを目指しており、本県では専門学科から改編したものが3校、普通科から改編したものが1校に設置されている。

総合学科で開設される科目は選択幅が広く、生徒の多様なニーズに応じることが可能であり、そこに学ぶ生徒に好評である。しかし、その一方で、学校規模による教員数の制約などにより、総合学科本来のねらいを生かした教育課程の編成に限界があるなどの指摘もある。

今後、入学志願者の動向によっては、生徒や地域のニーズに応じた系列の見直しなど、さらに改善を行う必要がある。また、普通科からの改編については、実施から間もないため、当分の間、その成果と課題を検証する必要がある。

#### 専門学科のあり方

##### 理数科

本県の理数科は6校に設置されている。理数科においては、自然科学及び数学における基本的な概念、原理・法則などについての系統的な理解を深め、科学的、数学的に考察し、処理する能力と態度を育ててきた。科学技術が急速に進展する中で、今後も理数科の特性を生かした教育を一層推進する必要がある。探求的な学習を一層重視するなど、生徒や地域のニーズに応じて、今後も教育内容や指導方法の改善に努める必要がある。

なお、前述の改善の成果や入学志願者の動向によっては、学科の存続の可否について検討する必要がある。

##### 英語科

本県の英語科は1校に設置されている。英語科においては、授業以外にも、海外研修、イングリッシュキャンプなどの体験学習や留学生の受け入れなどにより、実践的

コミュニケーション能力を身につけさせるとともに、異文化を理解し尊重する態度の育成を図っている。

近年、小学校においても英語活動が行われるようになり、英語教育に対するニーズは一層高まると予想されることから、今後も英語科の特性を生かした教育を推進していくとともに、生徒の多様なニーズに応じて、教育内容や指導方法の改善に努める必要がある。

なお、前述の改善の成果や入学志願者の動向によっては、学科の存続の可否について検討する必要がある。

#### 体育科

本県の体育科は1校に設置されている。体育科においては、運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、心身の発達を最大限に伸長するとともに、体育・スポーツに関する教養を培い、体育・スポーツの指導者としての資質・能力の育成や競技力の向上を図ってきた。今後も体育科の特性を生かした教育を推進していくとともに、生徒の多様な進路ニーズに応じて、教育内容や指導方法の改善に努める必要がある。

#### 農業に関する学科

本県の農業に関する学科は4校に設置されている。農業に関する学科においては、農業の各分野(食料供給・環境創造・バイオテクノロジー・ヒューマンサービスなど)に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる必要がある。また、農業のもつ公益的機能、文化的役割、社会的意義などについて理解させるとともに、農業のもつ教育力を活用することにより地域との連携を推進し、起業家精神をもち、地域の活性化に貢献できる人材を育成する必要がある。

#### 工業に関する学科

本県の工業に関する学科は4校に設置されている。工業に関する学科においては、ものづくりに関する基礎的・基本的な知識と技術の確実な定着を図るとともに、実践的実習・実験を重視し、環境変化や技術革新に対応できる将来のスペシャリストを育成する必要がある。

また、地域産業と連携した教育や資格取得などに主体的に取り組む教育を推進し、創造性豊かで地域に貢献できる技術者を育成する必要がある。

#### 商業に関する学科

本県の商業に関する学科は5校に設置されている。商業に関する学科においては、流通ビジネス、国際経済、簿記会計、経営情報の各分野の学習を通して、マーケティング能力や情報活用能力などのビジネスに関する理解力と実践力を身につけさせる必要がある。

また、将来のスペシャリストとして、起業家精神を身につけさせるとともに、地域産業と連携した教育や資格取得などに主体的に取り組む教育を推進し、創造性豊かで地域に貢献できる人材を育成する必要がある。

#### 水産に関する学科

本県の水産に関する学科は2校に設置されている。水産に関する学科においては、水産・海洋の各分野における、生産や流通、環境などに関する基礎・基本を重視しながら、将来のスペシャリストとして必要とされる知識と技術を習得させ、水産業及び海洋関連産業の意義や役割を理解させる必要がある。また、それらの産業の発展を支える創造力と実践的な態度を育成する必要がある。

なお、近年、水産高校への進学者は減少傾向にあり、卒業後の関連分野への就職・進学者も少ない状況にある。水産高校のあり方については、地域の実態や本県の水産業振興との関わりなどから、学校数は現在のままでよいか、たとえ小規模でも単独の専門高校として存続させるか、また、学校規模の適正化を図る観点から他の学科との併設とするかなど、様々な議論がある。今後10年間を見通した対応については、地域内の他の高校との関連も含めて、総合的な検討が必要である。

#### 家庭に関する学科

本県の家庭に関する学科は定時制課程1校に設置されている。また、生活・文化に関する系列が2校の総合学科に設定されている。家庭に関する学科・系列においては、衣食住や保育、家庭看護や介護に関する知識と技術を習得させるとともに、主体的、実践的な態度を育成する必要がある。

なお、家庭に関する学科については、定時制・通信制課程の統合再編成により、専門学科としては存続しないが、統合新設校においても、専門教科・科目として取り入れることが望ましい。

#### 福祉に関する学科

本県では福祉に関する学科は設置されていないが、福祉に関する系列が3校の総合学科に設定されている。福祉に関する系列においては、他者を思いやる気持ちやいたわる気持ちなど、豊かな人間性を育む必要がある。また、介護サービスに関する専門的な知識と技術を有する人材の育成が必要である。

なお、現在、国において介護職員養成課程における様々な見直しが検討されており、福祉系列で取得を推進している訪問介護員の資格については将来的に介護福祉士に一元化されることも考えられるため、国における検討状況を見ながら、今後の教育内容を検討していく必要がある。

#### 中高一貫教育のあり方

中高一貫教育には「中等教育学校」、「併設型」、「連携型」という3つの実施形態があり、本県では「連携型」の中高一貫教育が2地域で実施されている。

本県で実施している連携型の中高一貫教育においては、中学校と高校が連携したTT授業などにより、きめ細かな学習指導や進路指導ができるとともに、中学生と高校生の交流により、教育活動に活気が生まれ、相互の理解も深まるという積極的な評価がある。しかし、その一方で連携型では6年間を見通した計画的・継続的な指導に限界があるとか、連携高校の入学者選抜において学力検査がないことが生徒の学習意欲の低下につながっているのではないか、などの指摘もある。

連携型の成果と課題を検証しつつ、中高一貫教育の今後のあり方について引き続き検討していく必要がある。

#### 高校と中学校との連携による教育の推進

生徒の個性や能力に応じたよりきめ細かな教育を行うため、高校と中学校との交流を通して共通理解を深めたり、学習指導の工夫を行うなど、中高の連携を一層進める必要がある。

## 特別支援教育への対応

### 高校における特別支援教育

高校においては既に、知的障害を伴わない肢体不自由などの生徒に対し、必要な支援が行われてきた。しかし、LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥/多動性障害)、高機能自閉症などの発達障害に対する理解は十分とは言えず、該当生徒への特別支援教育をより一層充実させる必要がある。

現在、高校においても、校内委員会や特別支援教育コーディネーターを置くなどの校内支援体制の確立に向けた取り組みが行われている。今後は個別の指導・支援の場を設けるなどの教育環境の整備や教育内容・方法をさらに工夫する必要がある。

### 高校と特別支援学校との連携による特別支援教育

障害のある生徒の教育的ニーズは様々であり、高校だけの、あるいは、特別支援学校だけの単独の取り組みでは十分な学習成果をあげることが困難な場合もある。今後は、お互いに十分な情報交換を行うとともに、お互いの教育の専門性や施設・設備などの機能を活かした教育を行っていく必要がある。

### 生涯学習社会における高校のあり方

生涯学習社会の進展に伴って、学校教育の場においては、生徒一人ひとりが生涯を通して学んでいくための基礎を培うことが重要となっている。また、学校と家庭、地域社会が相互の連携を一層深めていくとともに、地域社会に開かれた学校づくりをさらに推進していく必要がある。

本県では、これまでも、学校施設の開放や開放講座の開設などにより、一定の学校開放が行われてきた。今後も、高校がもつ人的・物的な機能を地域社会へ一層開放していくとともに、生徒の体験的な学習などにおいて、地域社会の教育力や人材を学校教育に活用し、地域や社会に貢献することの意義や尊さを教え、その気概を持たせることが必要である。

### 3. 再編成に関する基本的な考え方

今後の生徒減少期にあっても、各高校が、高校教育の水準を確保し、魅力と活力ある学校づくりをしていくためには、次に示す を基本としながら、 から までの観点も含めて、各地域における高校のあり方や再編成について検討していく必要がある。

高校には、次に示す から のような観点から、基本的に一定の生徒数や学校規模が必要である。

#### 多様な学習ニーズに対応する教育課程とそれを可能にする教員配置

生徒の多様な学習ニーズに対応するためには、進路希望や興味・関心に応じた多様な科目の開設と、それを可能にする教員数が必要である。しかし、教員数は基本的に学校規模(収容定員)に基づいて決まるため、多様な科目を開設するには、一定以上の学校規模が必要となる。

たとえば、普通高校の場合、1学年4学級以上であれば、理科や地理歴史科などにおいて、すべての科目の教員を配置することがほぼ可能となり、より適切な教科指導が行える。

#### 部活動や学校行事の充実

学習以外でも、部活動や学校行事、生徒会活動等を通して、生徒が充実した高校生活を送るための教育環境が必要である。特に部活動は、それを励みにしている生徒も多く、教育の場としても重要である。一定以上の規模を有する高校では部活動の選択肢が多く、また、専門的な指導者を確保しやすい。

#### 集団の中で社会性とたくましさを培うことのできる教育環境

大人の一步手前にいる高校生には、集団の中で多くの個性や価値観に触れ、切磋琢磨しながら社会性や協調性を育むとともに、大きな集団の中でも自分らしさを発揮できるたくましさを培う環境が望ましい。このような環境は、一定以上の規模を有する高校において、より整えやすい。

高校の配置を検討するにあたっては、東西に長く、多くの中山間地域を有する本県の地理的特性や通学事情などを勘案し、高校教育の機会均等を図るとともに、高校が教育の場としてはもとより、地域コミュニティや文化的拠点としての役割も果たしていることから、地域における高校の存在意義などについても考慮する必要がある。



各学科については、生徒の進路希望などを踏まえながら、適正配置に努めるとともに、志願者が減少している専門学科などについては、本県の産業構造や産業振興との関わりなども十分把握したうえで、新しい学科や高校のあり方を検討していく必要がある。

再編成後の高校については、生徒が将来に対する夢と希望をもち、高校生活そのものが充実して、生き生きとした日々を送ることができるよう、教育内容や施設設備などの充実に努め、新たな時代に対応した学校づくりを進めていく必要がある。

なお、生徒数の減少により、小規模化が進む中山間地域の高校については、教育環境と教育水準を確保する観点から、国に対して、県立高校の教職員定数の見直しなどについて働きかけていくことも必要である。また、生徒数の推移によっては、存続の可否について検討しなければならない状況にあるため、今後の高校のあり方や生徒数の確保を含む学校活性化の方策などについて、各地域においても具体的な議論が望まれる。

#### 4. 再編成に関する基本的事項

##### 対象とする期間

本県の生徒数は、今後も減少傾向が続くことが予測されているが、生徒数の予測がある程度可能な平成21年度から平成30年度までを対象とした中・長期的な視点で再編成を検討することが適切である。

##### 1学級当たりの定員

本県の県立高校の1学級当たりの定員は、「公立高等学校の設置、適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」に基づき、すべて40人となっている。今後、国の動向を前提として、適切に対応していくことが必要である。

##### 適正規模

県立高校の適正規模は、高校教育の水準を確保し、生徒にとって魅力と活力ある学校づくりをしていく観点から、現行の「1学年4学級以上8学級以内」という基準を維持することが適当である。

第10回検討委員会審議用(H19.12.13)

なお、「適正規模」という表現は、3学級以内の高校が適正でないという印象を与えかねないので、例えば「望ましい規模」あるいは「標準規模」などへの見直しを検討することが望ましい。

### 統廃合基準

県立高校の統廃合基準は、適正規模と同様の観点から、基本的に現行の統廃合基準を維持することとし、次のとおりとするのが適当である。( 文言の追加、整理)

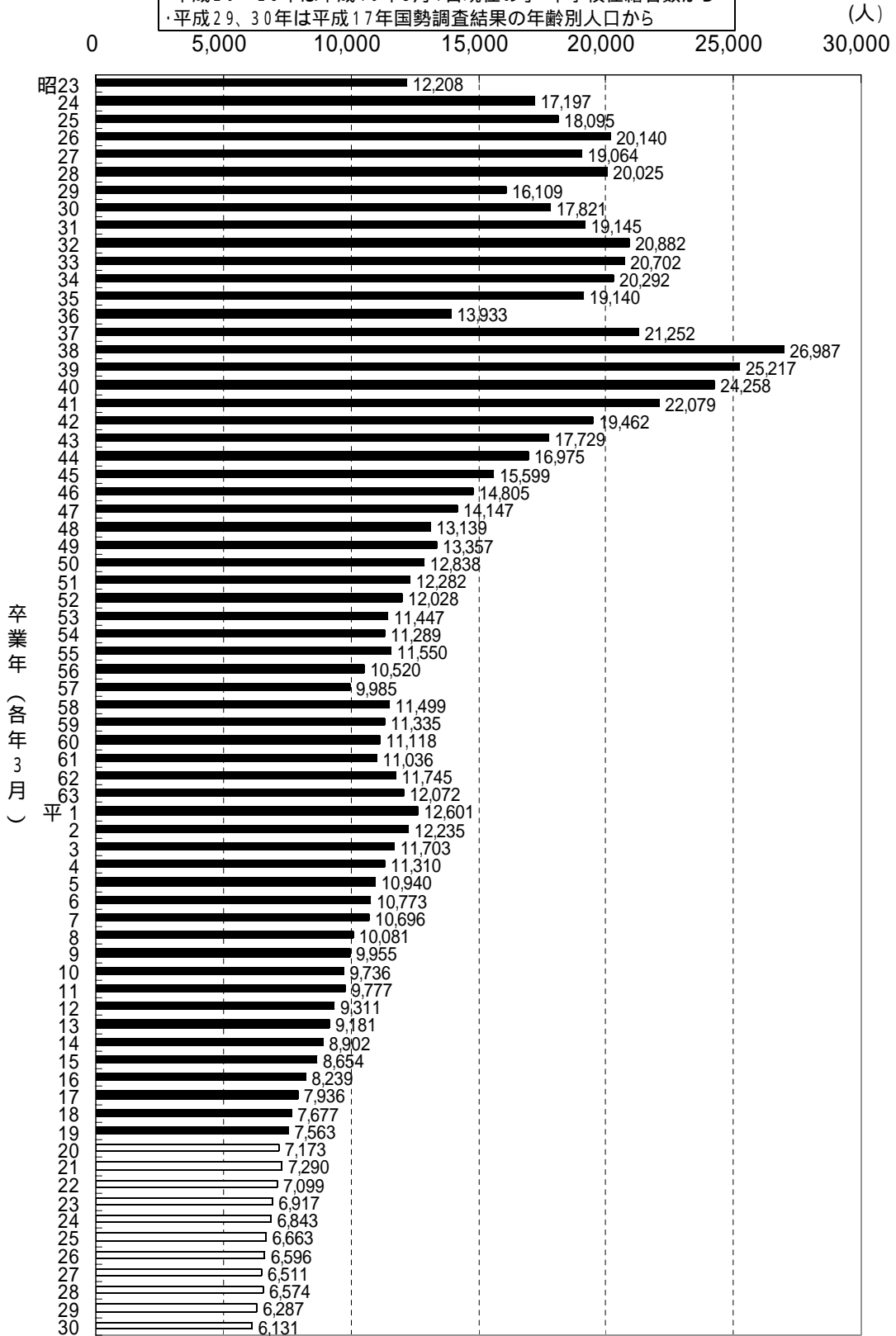
普通科を設置する1学年2学級の高校については、入学者数が入学定員の5分の3を2年連続下回るが見込まれる場合には、引き続き存続させるか、近隣普通の高校と統合するかを適当な時期に検討する。その際には、高校教育の機会均等や中山間地域の振興の観点から、1学年1学級本校としての存続のあり方をあわせて検討していく。

専門高校又は総合学科を設置する高校が1学年2学級となるが見込まれる場合には、支障のない形で、原則として近隣の専門高校又は総合学科を設置する高校との統合を検討する。

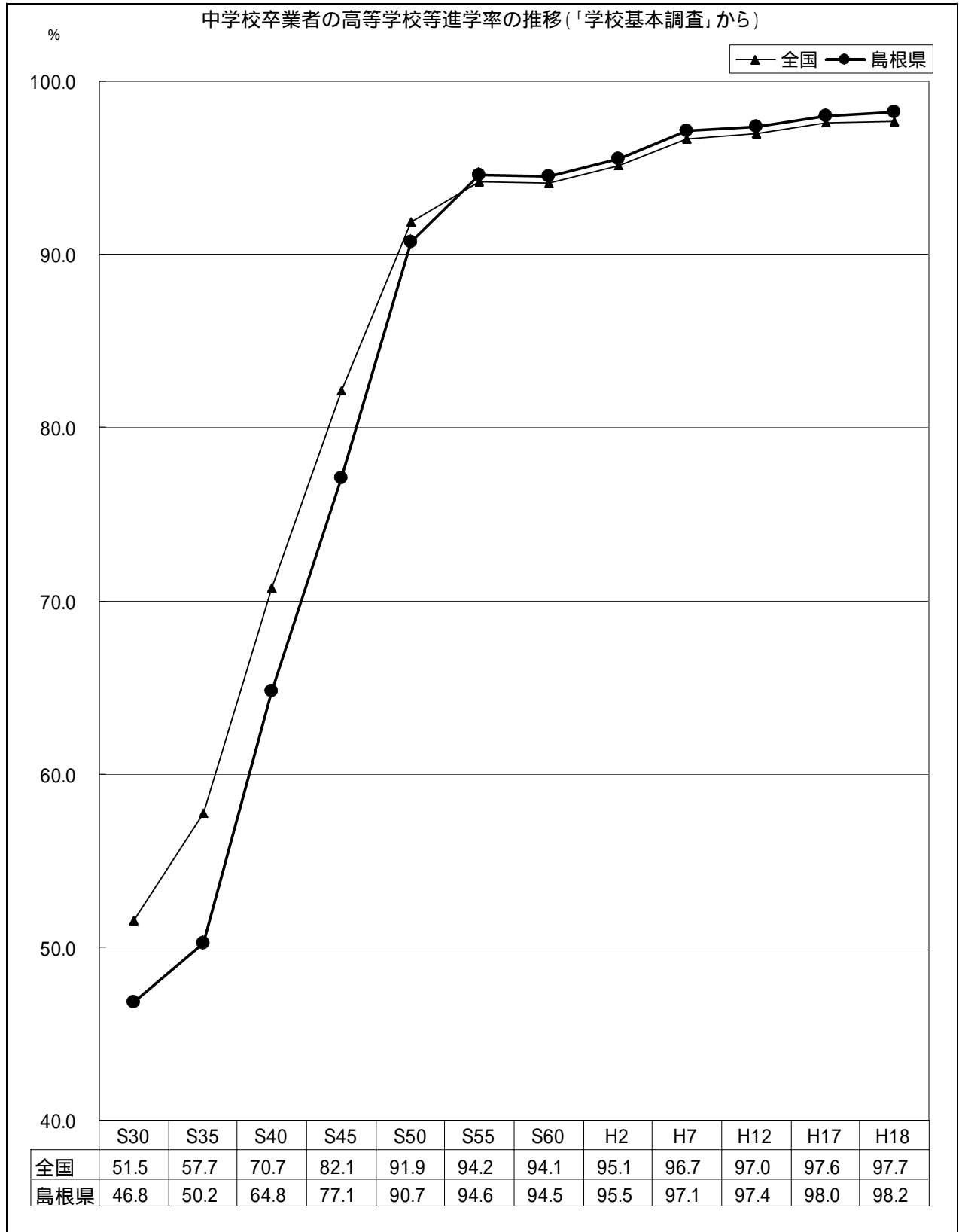
全日制課程分校又は1学年1学級本校において、在籍生徒数が収容定員の5分の3に満たず、しかも、将来にわたって生徒数が増加する見通しが立たないと見込まれる場合には、生徒募集を停止するか、近隣の高校へ統合するかを適当な時期に検討する。ただし、今後、高校の再編成を進めていくに際し、必要な場合には、これらの学校がこの基準に該当しない場合であっても、高校への統合を検討していく。なお、これらの統廃合基準の適用にあたり、中山間地域の分校や1学年2学級以内の普通高校については、収容定員又は入学定員の設定を1学級当たり35人とみなすこととする。

島根県内の中学校卒業生数の推移  
〔平成19年5月1日現在〕

・平成18年までは学校基本調査結果から  
・平成19年は高校教育課調査結果から  
・平成20～28年は平成19年5月1日現在の小・中学校在籍者数から  
・平成29、30年は平成17年国勢調査結果の年齢別人口から



## 中学校卒業者の高等学校等進学率の推移



〔注〕「高等学校等進学者」とは、高等学校・中等教育学校後期課程・盲・聾・養護学校高等部の本科、別科、及び高等専門学校へ進んだ者である。また、進学し、かつ、就職した者を含む。

## 公立高校(全日制課程)の状況

## 1. 学校規模(H20募集学級数)

H20募集学級数	1	2	3	4	5	6	7	8	学校数
普通科	吉賀前 島前 (掛合) (佐田) (今市)	飯南 津和野	島根中央	大東 横田	安来	松江東			13(3)
+ 理数科					大益 田田	浜田		松江北 松江南 出雲	6
+ 英語科			江津						1
+ 体育科								大社	1
+ 国際文化観光				松江市女					1
+ 農業学科			矢上						1
+ 商業学科			隠岐						1
農業学科				出雲農					1
工業学科			江津工	出雲工		松江工			3
商業学科			情報科学 浜田商	出雲商		松江商			4
水産学科		浜田水 隠岐水							2
総合学科			邇摩		三刀屋				2
+ 農業学科				松江農					1
+ 工業、農業					益田翔陽				1
学校数	5(3)	4	8	8	5	4	-	4	38(3)

( )内は分校で数は内数。

・1学級当たりの募集定員は、県立高校は40人、松江市立女子高校はH20年度から30人。

・「+」は併設を意味する。

## 2. 学科の内訳(H19年度ベース)

普・専・総の募集定員の比率

	普通科系 学科	職業系学科					総合学科	
		農業	水産	工業	商業	その他		
島根県	61.9%	31.0%	(5.8%)	(2.6%)	(11.0%)	(11.6%)	(0.0%)	7.1%
鳥取県	55.2%	35.9%	(6.5%)	(1.6%)	(12.0%)	(10.4%)	(5.4%)	8.8%
岡山県	56.7%	38.8%	(5.6%)		(13.6%)	(13.0%)	(6.6%)	4.4%
広島県	65.7%	21.1%	(3.6%)		(8.5%)	(7.0%)	(2.0%)	13.2%
山口県	57.4%	34.5%	(4.8%)	(0.6%)	(15.9%)	(10.5%)	(2.7%)	8.0%
全国平均	69.2%	24.6%	(4.0%)	(0.5%)	(9.9%)	(8.2%)	(2.0%)	6.1%

他県調査結果から。

・普通科系学科には、理数科、体育科、英語科等を含む。

・その他には家庭、看護、福祉、情報学科等を含む。

・他県で設置されている家庭、福祉については、本県の場合、総合学科の系列として設定している。

・端数処理の関係上、普通科系学科、職業系学科、総合学科の合計が100%にならないところもある。

普通科系学科の募集定員の比率

	普通科	専門教育を主とする学科(普通科系)					計
		理数関係	語学関係	国際関係	体育関係	芸術関係	
島根県	90.7%	6.3%	1.0%	1.0%	1.0%		100.0%
鳥取県	92.6%	4.5%	1.4%	1.5%			100.0%
岡山県	89.4%	2.8%		1.1%	1.1%	5.6%	100.0%
広島県	98.6%			0.7%	0.7%		100.0%
山口県	94.9%	4.4%	0.7%				100.0%
全国平均	95.2%	1.6%	0.7%	0.9%	0.5%	0.4%	100.0%

他県調査結果から。

・その他は人間科学、文化科学、未来創造、キャリア探求等。

・総合学科を含まない。

3. 普通系学科(系列)の生徒数の状況(H19.5.1現在)

学校名	学科	第1学年				第2学年				第3学年				全学年			
		字級数	定員	生徒数	充足率	字級数	定員	生徒数	充足率	字級数	定員	生徒数	充足率	字級数	定員	生徒数	充足率
安来	普通	5	200	178	89.0%	5	200	150	75.0%	5	200	187	93.5%	15	600	515	85.8%
松江北	普通	7	280	282	100.7%	7	280	277	98.9%	7	280	254	90.7%	21	840	813	96.8%
	理数	1	40	40	100.0%	1	40	40	100.0%	1	40	39	97.5%	3	120	119	99.2%
	計	8	320	322	100.6%	8	320	317	99.1%	8	320	293	91.6%	24	960	932	97.1%
松江南	普通	7	280	280	100.0%	7	280	280	100.0%	7	280	260	92.9%	21	840	820	97.6%
	理数	1	40	42	105.0%	1	40	40	100.0%	1	40	38	95.0%	3	120	120	100.0%
	計	8	320	322	100.6%	8	320	320	100.0%	8	320	298	93.1%	24	960	940	97.9%
松江東	普通	6	240	240	100.0%	6	240	240	100.0%	7	280	269	96.1%	19	760	749	98.6%
松江市女	普通	3	120	105	87.5%	3	120	94	78.3%	3	120	91	75.8%	9	360	290	80.6%
	国観	1	40	7	17.5%	1	40	30	75.0%	1	40	39	97.5%	3	120	76	63.3%
	計	4	160	112	70.0%	4	160	124	77.5%	4	160	130	81.3%	12	480	366	76.3%
大東	普通	4	160	156	97.5%	4	160	144	90.0%	4	160	152	95.0%	12	480	452	94.2%
横田	普通	4	160	145	90.6%	4	160	147	91.9%	4	160	128	80.0%	12	480	420	87.5%
三刀屋	総合	5	200	161	80.5%	5	200	197	98.5%	5	200	174	87.0%	15	600	532	88.7%
	掛合 普通	1	40	19	47.5%	1	40	25	62.5%	1	40	25	62.5%	3	120	69	57.5%
飯南	普通	2	80	59	73.8%	2	80	48	60.0%	2	80	55	68.8%	6	240	162	67.5%
平田	普通	4	160	161	100.6%	4	160	156	97.5%	4	160	159	99.4%	12	480	476	99.2%
出雲	普通	8	320	321	100.3%	8	320	317	99.1%	8	320	311	97.2%	24	960	949	98.9%
	理数	1	40	40	100.0%	1	40	42	105.0%	1	40	38	95.0%	3	120	120	100.0%
	計	9	360	361	100.3%	9	360	359	99.7%	9	360	349	96.9%	27	1080	1069	99.0%
大社	普通	7	280	280	100.0%	7	280	275	98.2%	7	280	277	98.9%	21	840	832	99.0%
	体育	1	40	40	100.0%	1	40	39	97.5%	1	40	37	92.5%	3	120	116	96.7%
	計	8	320	320	100.0%	8	320	314	98.1%	8	320	314	98.1%	24	960	948	98.8%
佐田	普通	1	40	35	87.5%	1	40	22	55.0%	1	40	25	62.5%	3	120	82	68.3%
	普通	4	160	160	100.0%	4	160	153	95.6%	4	160	161	100.6%	12	480	474	98.8%
	理数	1	40	27	67.5%	1	40	35	87.5%	1	40	40	100.0%	3	120	102	85.0%
計	5	200	187	93.5%	5	200	188	94.0%	5	200	201	100.5%	15	600	576	96.0%	
川本	普通	H19募集停止				2	80	65	81.3%	2	80	70	87.5%	4	160	135	84.4%
邑智	普通	H19募集停止				2	80	18	22.5%	2	80	46	57.5%	4	160	64	40.0%
島根中央	普通	4	160	113	70.6%								4	160	113	70.6%	
矢上	普通	2	80	80	100.0%	2	80	79	98.8%	2	80	67	83.8%	6	240	226	94.2%
江津	普通	2	80	81	101.3%	2	80	80	100.0%	3	120	117	97.5%	7	280	278	99.3%
	英語	1	40	37	92.5%	1	40	24	60.0%	1	40	18	45.0%	3	120	79	65.8%
	計	3	120	118	98.3%	3	120	104	86.7%	4	160	135	84.4%	10	400	357	89.3%
浜田	普通	5	200	200	100.0%	6	240	234	97.5%	6	240	228	95.0%	17	680	662	97.4%
	理数	1	40	41	102.5%	1	40	38	95.0%	1	40	31	77.5%	3	120	110	91.7%
	計	6	240	241	100.4%	7	280	272	97.1%	7	280	259	92.5%	20	800	772	96.5%
今市	普通	1	40	28	70.0%	1	40	23	57.5%	1	40	17	42.5%	3	120	68	56.7%
益田	普通	4	160	160	100.0%	4	160	129	80.6%	4	160	159	99.4%	12	480	448	93.3%
	理数	1	40	40	100.0%	1	40	38	95.0%	1	40	32	80.0%	3	120	110	91.7%
	計	5	200	200	100.0%	5	200	167	83.5%	5	200	191	95.5%	15	600	558	93.0%
吉賀	普通	1	40	35	87.5%	1	40	43	107.5%	1	40	42	105.0%	3	120	120	100.0%
津和野	普通	2	80	82	102.5%	3	120	63	52.5%	3	120	84	70.0%	8	320	229	71.6%
隠岐	普通	2	80	74	92.5%	2	80	73	91.3%	2	80	76	95.0%	6	240	223	92.9%
隠岐島前	普通	1	40	33	82.5%	1	40	32	80.0%	2	80	38	47.5%	4	160	103	64.4%
合計	普通	87	3480	3307	95.0%	89	3560	3167	89.0%	92	3680	3298	89.6%	268	10720	9772	91.2%
	理数	6	240	230	95.8%	6	240	233	97.1%	6	240	218	90.8%	18	720	681	94.6%
	体育	1	40	40	100.0%	1	40	39	97.5%	1	40	37	92.5%	3	120	116	96.7%
	英語	1	40	37	92.5%	1	40	24	60.0%	1	40	18	45.0%	3	120	79	65.8%
	国観	1	40	7	17.5%	1	40	30	75.0%	1	40	39	97.5%	3	120	76	63.3%
	総合	5	200	161	80.5%	5	200	197	98.5%	5	200	174	87.0%	15	600	532	88.7%
	計	101	4040	3782	93.6%	103	4120	3690	89.6%	106	4240	3784	89.2%	310	12400	11256	90.8%

三刀屋...人文科学系列、人文情報系列、総合人間系列、理数科学系列、理数情報系列

4. 職業系学科(系列)の生徒数の状況(H19.5.1現在)  
農業に関する学科

学校名	学科	第1学年				第2学年				第3学年				全学年			
		学級数	定員	生徒数	充足率	学級数	定員	生徒数	充足率	学級数	定員	生徒数	充足率	学級数	定員	生徒数	充足率
		松江農林	生物	1	40	40	100.0%	1	40	40	100.0%	1	40	38	95.0%	3	120
	環土	1	40	40	100.0%	1	40	39	97.5%	1	40	40	100.0%	3	120	119	99.2%
	計	2	80	80	100.0%	2	80	79	98.8%	2	80	78	97.5%	6	240	237	98.8%
出雲農林	植科	1	40	37	92.5%	1	40	38	95.0%	1	40	27	67.5%	3	120	102	85.0%
	食科	1	40	40	100.0%	1	40	40	100.0%	1	40	36	90.0%	3	120	116	96.7%
	動科	1	40	40	100.0%	1	40	38	95.0%	1	40	33	82.5%	3	120	111	92.5%
	環科	1	40	41	102.5%	1	40	33	82.5%	1	40	27	67.5%	3	120	101	84.2%
	計	4	160	158	98.8%	4	160	149	93.1%	4	160	123	76.9%	12	480	430	89.6%
矢上	産技	1	40	36	90.0%	1	40	35	87.5%	1	40	35	87.5%	3	120	106	88.3%
益田産業	生生									1	40	38	95.0%	1	40	38	95.0%
	環土									1	40	37	92.5%	1	40	37	92.5%
	計									2	80	75	93.8%	2	80	75	93.8%
益田翔陽	生生	1	40	34	85.0%	1	40	40	100.0%					2	80	74	92.5%
	環土	1	40	18	45.0%	1	40	33	82.5%					2	80	51	63.8%
	計	2	80	52	65.0%	2	80	73	91.3%					4	160	125	78.1%
合計		9	360	326	90.6%	9	360	336	93.3%	9	360	311	86.4%	27	1080	973	90.1%

商業に関する学科

学校名	学科	第1学年				第2学年				第3学年				全学年			
		学級数	定員	生徒数	充足率	学級数	定員	生徒数	充足率	学級数	定員	生徒数	充足率	学級数	定員	生徒数	充足率
		情科	マルチ					1	40	31	77.5%	1	40	36	90.0%	2	80
	情処					1	40	39	97.5%	1	40	40	100.0%	2	80	79	98.8%
	情シ					1	40	29	72.5%	1	40	25	62.5%	2	80	54	67.5%
	くくり	3	120	92	76.7%									3	120	92	76.7%
	計	3	120	92	76.7%	3	120	99	82.5%	3	120	101	84.2%	9	360	292	81.1%
松江商業	商業					4	160	158	98.8%	4	160	127	79.4%	8	320	285	89.1%
	情処					1	40	40	100.0%	1	40	39	97.5%	2	80	79	98.8%
	国際					1	40	40	100.0%	1	40	40	100.0%	2	80	80	100.0%
	くくり	6	240	241	100.4%									6	240	241	100.4%
	計	6	240	241	100.4%	6	240	238	99.2%	6	240	206	85.8%	18	720	685	95.1%
出雲商業	商業	3	120	121	100.8%	3	120	117	97.5%	2	80	77	96.3%	8	320	315	98.4%
	国経							0		1	40	38	95.0%	1	40	38	95.0%
	情処	1	40	40	100.0%	1	40	42	105.0%	2	80	74	92.5%	4	160	156	97.5%
	計	4	160	161	100.6%	4	160	159	99.4%	5	200	189	94.5%	13	520	509	97.9%
浜田商業	商業	2	80	80	100.0%	2	80	75	93.8%	2	80	73	91.3%	6	240	228	95.0%
	国ビ	1	40	40	100.0%	1	40	37	92.5%	1	40	34	85.0%	3	120	111	92.5%
	情処	1	40	36	90.0%	1	40	37	92.5%	1	40	40	100.0%	3	120	113	94.2%
	計	4	160	156	97.5%	4	160	149	93.1%	4	160	147	91.9%	12	480	452	94.2%
隠岐	商業	1	40	35	87.5%	1	40	41	102.5%	1	40	38	95.0%	3	120	114	95.0%
合計		18	720	685	95.1%	18	720	686	95.3%	19	760	681	89.6%	55	2200	2052	93.3%

水産に関する学科

学校名	学科	第1学年				第2学年				第3学年				全学年			
		学級数	定員	生徒数	充足率	学級数	定員	生徒数	充足率	学級数	定員	生徒数	充足率	学級数	定員	生徒数	充足率
		浜田水産	海技	1	40	29	72.5%	1	40	24	60.0%	1	40	23	57.5%	3	120
	食流	1	40	26	65.0%	1	40	22	55.0%	1	40	30	75.0%	3	120	78	65.0%
	計	2	80	55	68.8%	2	80	46	57.5%	2	80	53	66.3%	6	240	154	64.2%
隠岐水産	海シ	1	40	38	95.0%	1	40	38	95.0%	1	40	33	82.5%	3	120	109	90.8%
	海生	1	40	18	45.0%	1	40	22	55.0%	1	40	30	75.0%	3	120	70	58.3%
	計	2	80	56	70.0%	2	80	60	75.0%	2	80	63	78.8%	6	240	179	74.6%
合計		4	160	111	69.4%	4	160	106	66.3%	4	160	116	72.5%	12	480	333	69.4%

工業に関する学科

学校名	学科	第1学年				第2学年				第3学年				全学年			
		学級数	定員	生徒数	充足率	学級数	定員	生徒数	充足率	学級数	定員	生徒数	充足率	学級数	定員	生徒数	充足率
松江工業	機械					1	40	40	100.0%	1	40	34	85.0%	2	80	74	92.5%
	電気					1	40	31	77.5%	1	40	37	92.5%	2	80	68	85.0%
	電子					1	40	37	77.5%	1	40	28	70.0%	2	80	65	81.3%
	情技					1	40	40	100.0%	1	40	39	97.5%	2	80	79	98.8%
	電機					1	40	41	102.5%	1	40	33	82.5%	2	80	74	92.5%
	建築					1	40	34	85.0%	1	40	36	90.0%	2	80	70	87.5%
	土木					1	40	35	87.5%	1	40	19	47.5%	2	80	54	67.5%
	機械・電子機械	2	80	80	100.0%									2	80	80	100.0%
	電気・電子・情報技術	3	120	107	89.2%									3	120	107	89.2%
	建築・土木	2	80	53	66.3%									2	80	53	66.3%
計	7	280	240	85.7%	7	280	258	92.1%	7	280	226	80.7%	21	840	724	86.2%	
出雲工業	機械	1	40	40	100.0%	1	40	36	90.0%	1	40	40	100.0%	3	120	116	96.7%
	電気	1	40	40	100.0%	1	40	40	100.0%	1	40	40	100.0%	3	120	120	100.0%
	建築	1	40	40	100.0%	1	40	40	100.0%	1	40	36	90.0%	3	120	116	96.7%
	環シ	1	40	40	100.0%	1	40	40	100.0%	1	40	38	95.0%	3	120	118	98.3%
	電機	1	40	40	100.0%	1	40	40	100.0%	1	40	39	97.5%	3	120	119	99.2%
計	5	200	200	100.0%	5	200	196	98.0%	5	200	193	96.5%	15	600	589	98.2%	
江津工業	機械	1	40	38	95.0%	1	40	39	97.5%	1	40	30	75.0%	3	120	107	89.2%
	建築	1	40	32	80.0%	1	40	26	65.0%	1	40	32	80.0%	3	120	90	75.0%
	総電	1	40	31	77.5%	1	40	35	87.5%	1	40	19	47.5%	3	120	85	70.8%
	計	3	120	101	84.2%	3	120	100	83.3%	3	120	81	67.5%	9	360	282	78.3%
益田工業	電気									1	40	33	82.5%	1	40	33	82.5%
	電機									1	40	29	72.5%	1	40	29	72.5%
	計									2	80	62	77.5%	2	80	62	77.5%
益田翔陽	電気	1	40	32	80.0%	1	40	30	75.0%					2	80	62	77.5%
	電機	1	40	32	80.0%	1	40	39	97.5%					2	80	71	88.8%
	計	2	80	64	80.0%	2	80	69	86.3%					4	160	133	83.1%
合計	17	680	605	89.0%	17	680	623	91.6%	17	680	562	82.6%	51	2040	1790	87.7%	

総合学科（職業系系列）

学校名	学科	第1学年				第2学年				第3学年				全学年			
		学級数	定員	生徒数	充足率	学級数	定員	生徒数	充足率	学級数	定員	生徒数	充足率	学級数	定員	生徒数	充足率
松江農林	総合	2	80	80	100.0%	2	80	81	101.3%	2	80	78	97.5%	6	240	239	99.6%
邇摩	総合	3	120	107	89.2%	4	160	126	78.8%	4	160	136	85.0%	11	440	369	83.9%
益田産業	総合									1	40	40	100.0%	1	40	40	100.0%
益田翔陽	総合	1	40	41	102.5%	1	40	39	97.5%					2	80	80	100.0%
合計		6	240	228	95.0%	7	280	246	87.9%	7	280	254	90.7%	20	800	728	91.0%

松江農林...食品科学系列、福祉サービス系列、地域クリエイト系列  
 邇摩...ビジネス系列、環境系列、生活・文化系列、福祉系列  
 益田翔陽(益田産業)...食品科学系列、生活文化・福祉系列

職業系学科(系列)計	54	2160	1955	90.5%	55	2200	1997	90.8%	56	2240	1924	85.9%	165	6600	5876	89.0%
------------	----	------	------	-------	----	------	------	-------	----	------	------	-------	-----	------	------	-------

職業系学科(系列)計には専攻科を含まない。

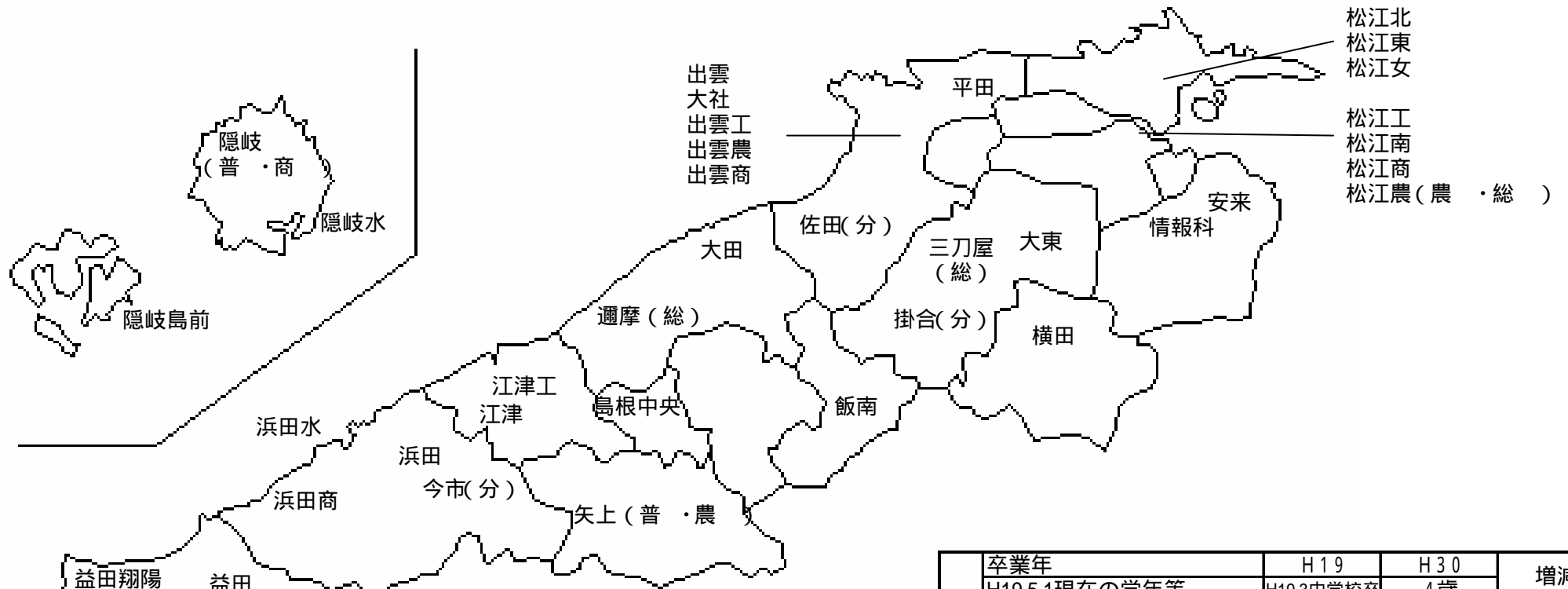
専攻科

学校名	学科	第1学年				第2学年				全学年			
		学級数	定員	生徒数	充足率	学級数	定員	生徒数	充足率	学級数	定員	生徒数	充足率
浜田水産	漁業			4				4				8	
	機関			3				1			4		
	計	1	10	7	70.0%	1	10	5	50.0%	2	20	12	60.0%
隠岐水産	漁業			6				4			10		
	機関			3				1		4			
	計	1	10	9	90.0%	1	10	5	50.0%	2	20	14	70.0%
専攻科合計		2	20	16	80.0%	2	20	10	50.0%	4	40	26	65.0%



# 公立高校（全日制課程）配置図

資料 4

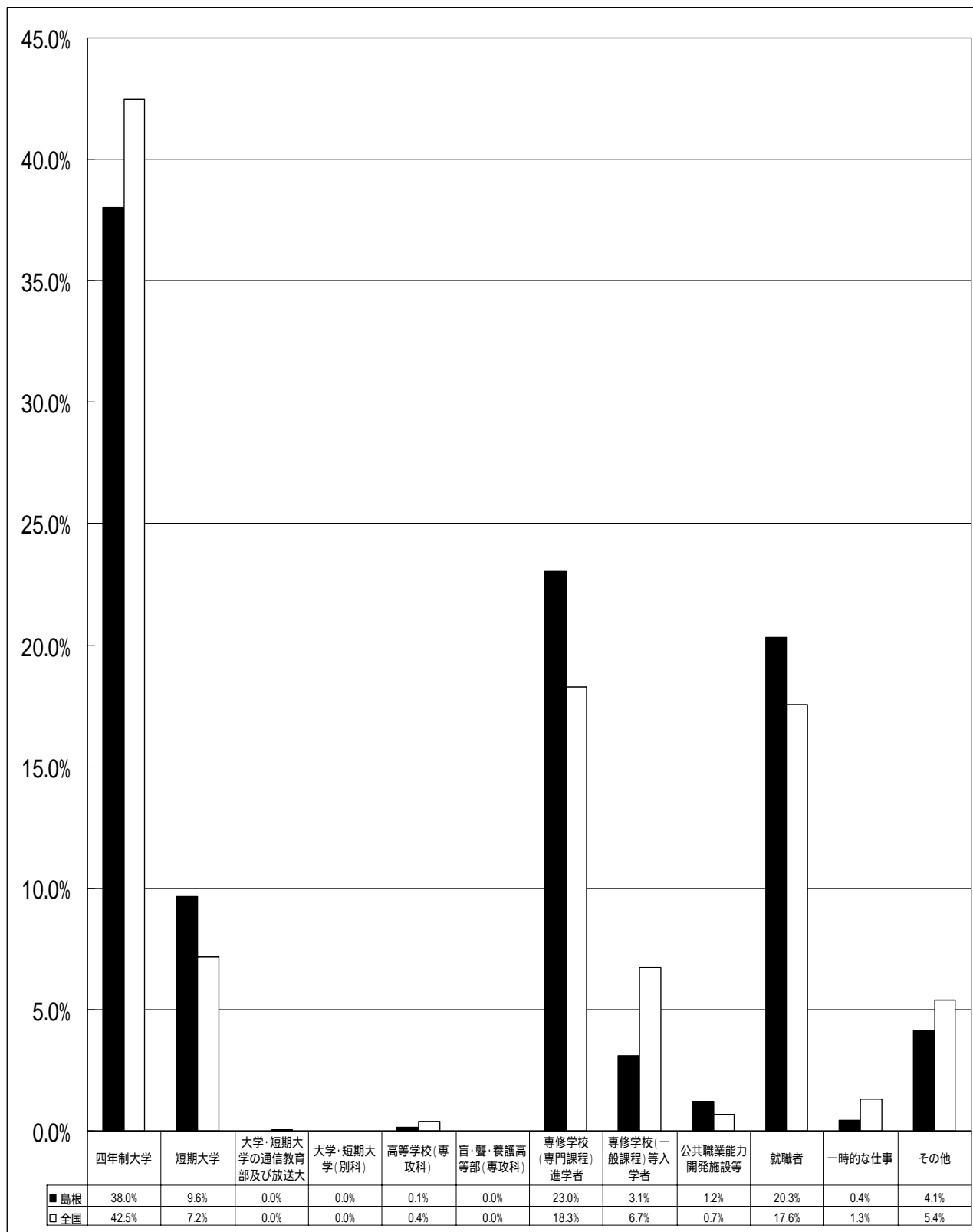


普通高校 専門高校 総合学科高校 併設高校  
 総合学科高校 総合学科単独設置校  
 内の数字は平成20年度募集学級数  
 ただし、1学級当たりの募集定員は  
 ・県立高校は40人  
 ・松江市立女子高校はH20年度から30人

卒業年	H19	H30	増減
	H19.5.1現在の学年等	H19.3中学校卒 4歳	
安来市	443	355	88
松江市	2,070	1,681	389
八束郡	138	195	57
雲南市	437	323	114
飯石郡	59	34	25
仁多郡	180	105	75
簸川郡	307	265	42
出雲市	1,555	1,341	214
大田市	398	317	81
邑智郡	204	149	55
浜田市	600	497	103
江津市	287	205	82
益田市	519	397	122
鹿足郡	156	86	70
島後	160	144	16
島前	50	37	13
総計	7,563	6,131	1,432

## 高校（全日制課程）卒業者の進路状況〔平成18年3月卒業者〕

〔H18 学校基本調査より〕



島根県の数値 ... 公立高校の全日制課程を集計したもの。

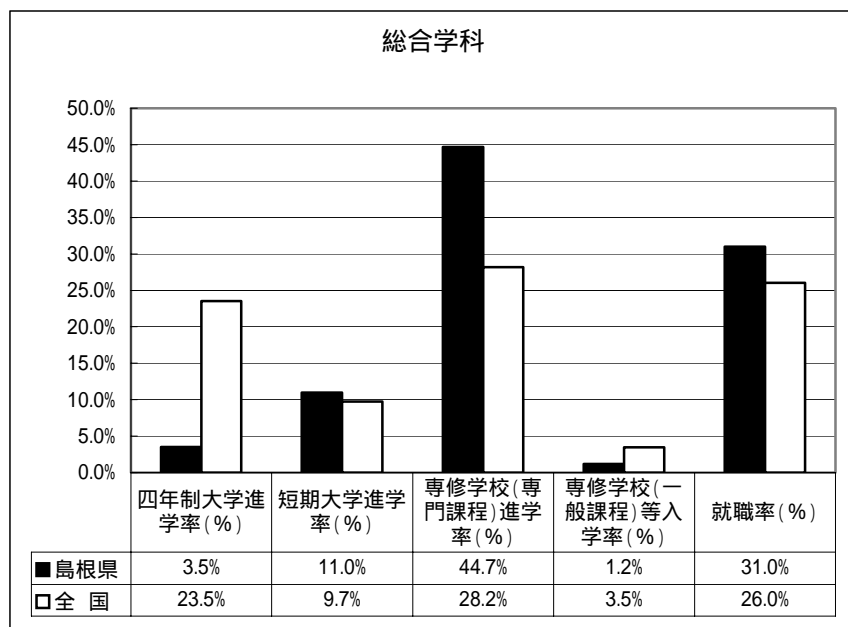
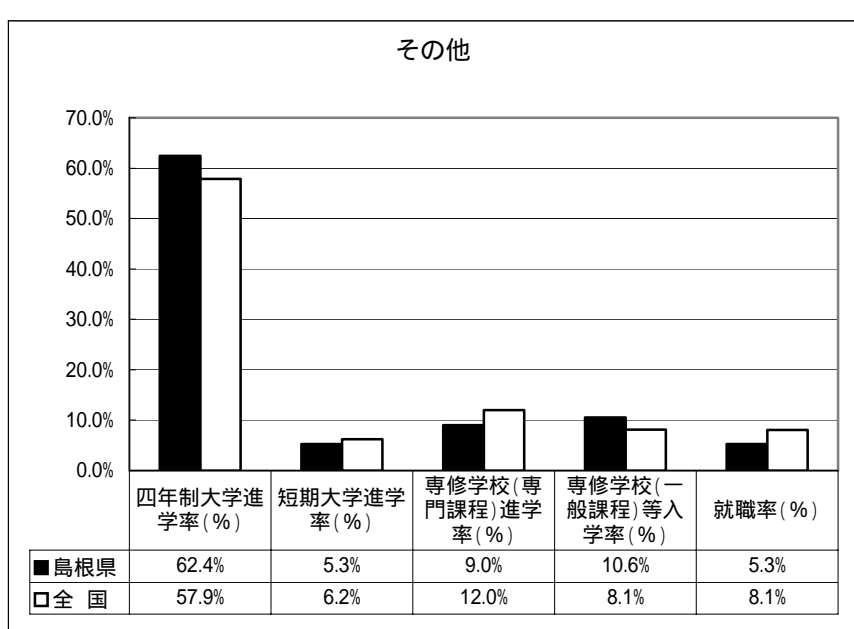
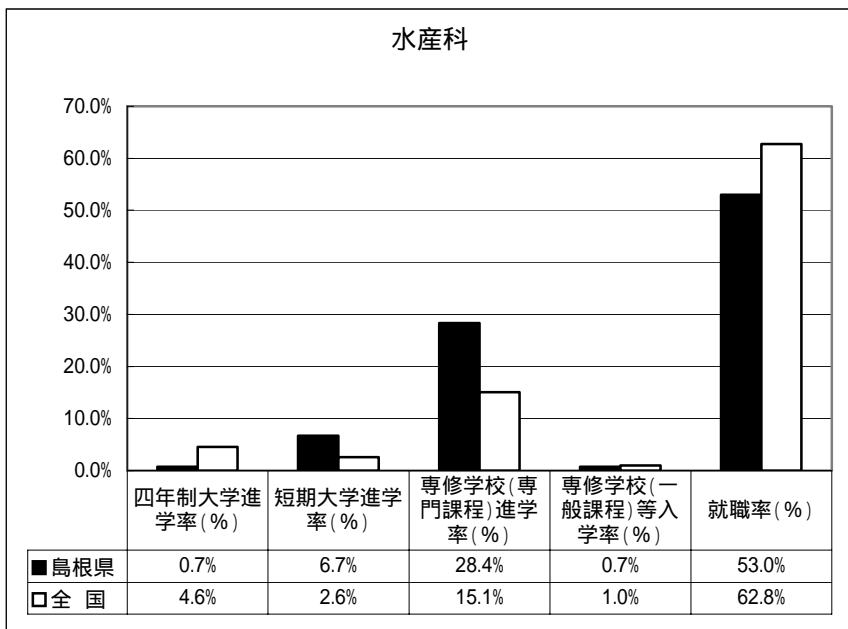
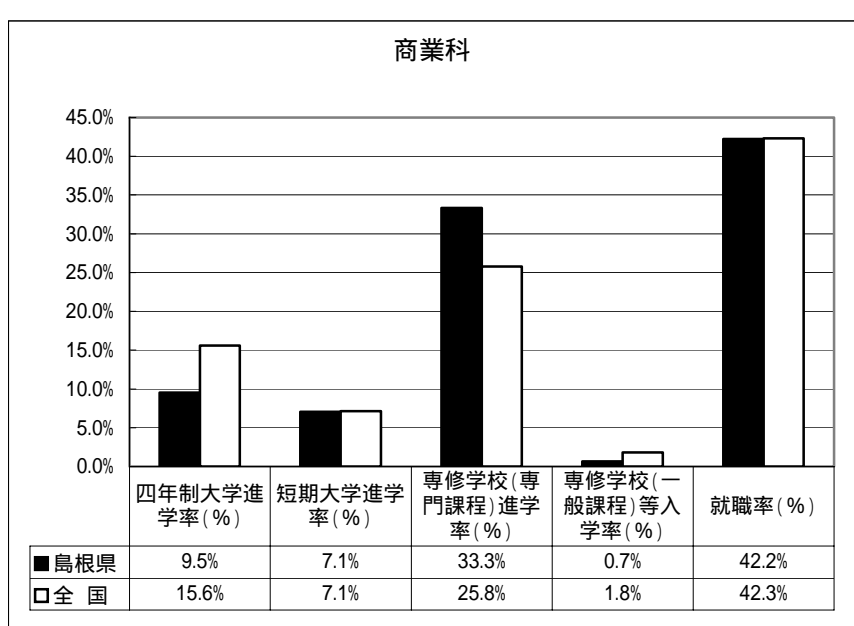
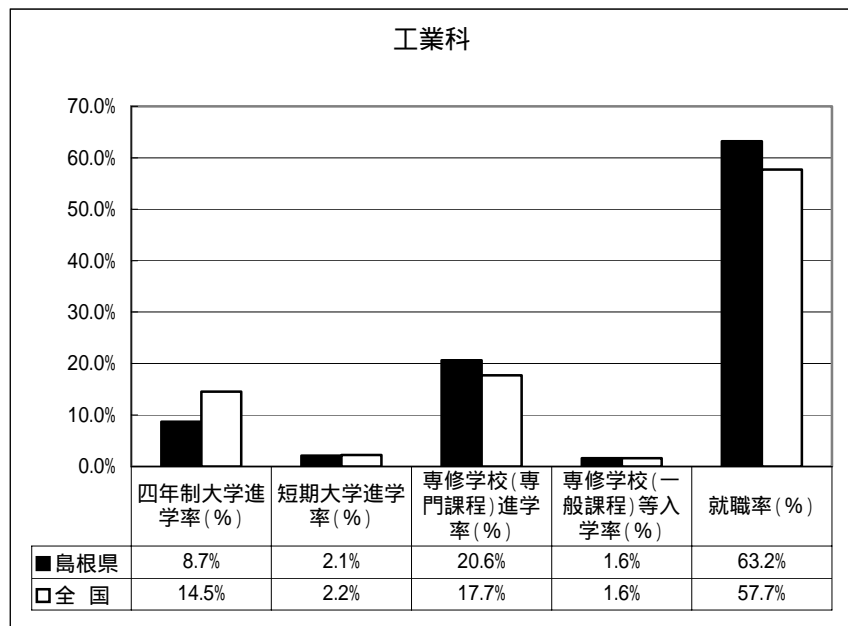
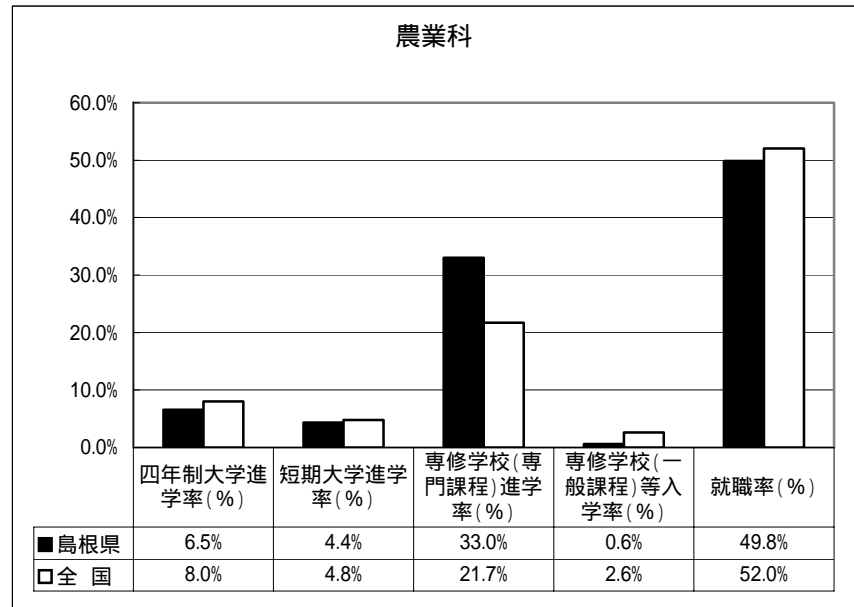
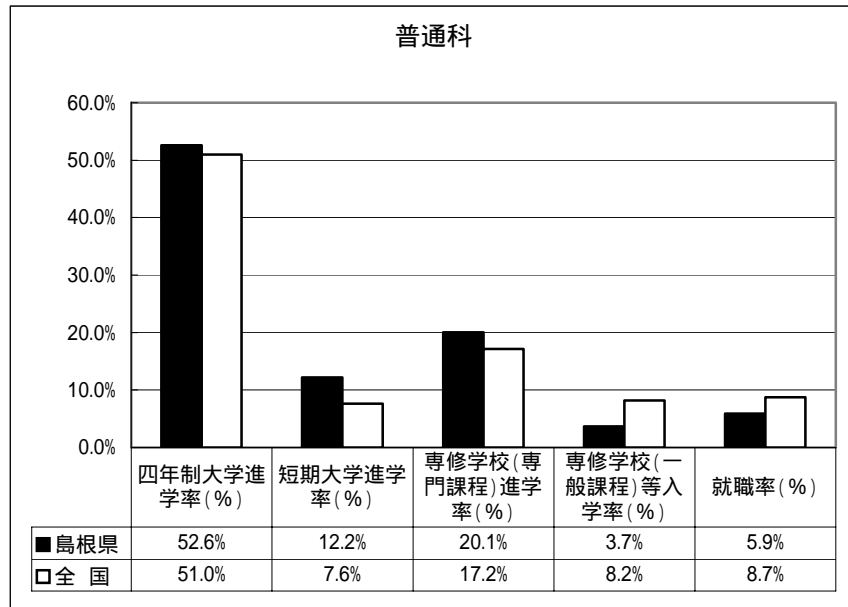
全国の数値 ... 公立及び私立高校の全日制課程を集計したもの

# 高校（全日制課程）卒業者の学科別進路状況〔平成18年3月卒業者〕

〔H18 学校基本調査より〕

島根県の数値 ... 公立高校の全日制課程を集計したもの。

全国の数値 ... 公立及び私立高校の全日制課程を集計したもの。



ただし、農業科には産業技術科を含む。  
商業科には、情報流通科を含む。  
その他は、理数科・英語科・国際文化科・体育科等である。